



アルフレッド号

馬種 "Clydesdale" 【クライスデール】 アルフレッド号 約170cm 800kg

クライスデールという種類は温厚で気性の優しい馬です。

スコットランドのラナーク地方原産で石炭を運搬する重挽馬として発達しました。

1800年代、ラナーク地方の在来馬の牝にフランダースの牡馬を交配して作りだされました・。

シャイアーの影響も受けているがそれほどの重量感はなく、世界に広く移出されています。

毛色は鹿毛、栗毛、芦毛などさまざまですが、四脚と顔に大きなマーキングを持つものが好まれます。

大型の馬の割には動きが敏捷で乗合馬車を引く馬として長く用いられてきました。

1850年頃アメリカに輸入され、スコットランドからの移民が多いウイコンシン州とミシガン州が伝統的な生産地です。

ビール会社のバドワイザーの広告宣伝に利用され大変ポピュラーな品種。肢端の豊かな距毛が特徴的です。

日本に6～8頭ほどしかいない非常に珍しい馬の種類です。

このたび茨城県の国際馬事学校の海方校長のご好意によりご提供いただきました。

クライスデールは、十勝帯広のバン馬（引き馬）に似て、蹄鉄も大変大きく

サラブレットと比較すると倍近く有ります。

現在、この種類での大型馬はカナダに約1.5トンの馬がいます。

